

同じ地域で暮らす子ども同士の交流を通して



天王みどり学園小学部では、交流及び共同学習の一環として、追分小学校・拓戸小学校との学校間交流のほかに、「居住地校交流」に積極的に取り組んでいます。

これは、児童が居住している地域の小学校に行き、居住地の同学年の子どもたちと小学校での授業と一緒に学習活動を行う機会をもち、地域でのつながりを深めようとするものです。

また、小学校児童たちにとっても、幼稚園・保育園で一緒だった共に地域で暮らしている本校の子どもたちとの交流を通して、同じ地域の友達として楽しい交流の時間を共有する貴重な機会となっています。手を取り言葉を交わす中で、障害のあるなしや別々の学校で過ごしていることを忘れるような、自然な交流が見られています。

平成29年度 交流校と交流児童数

* ()内は複数の場合の人数

地区	交流校
潟上市	追分小(2)、天王小(3)、東湖小、大豊小、飯田川小
南 秋	井川小、八郎潟小、五城目小
男鹿市	脇本第一小、美里小(2)
秋田市	金足西小、飯島南小、港北小(2)
計	13校(18名/小学部27名)



初めての交流では、活動内容(授業内容、方法)やふれあいの仕方などの面で手探りの状態であることも多いですが、2回、3回あるいは1年、2年と積み重ねるうちに、子どもたち同士の交流は徐々に自然なものになっていきます。また、交流を担当した小学校の先生方も地域に少しずつ増え、居住地校交流についてだけでなく天王みどり学園への理解の深まりもみられるようになってきたのではと感じています。

いずれにせよ、交流は各小学校の協力があってこそこの活動です。感謝の気持ちを持ちながら、今後も互いの子どもたちの成長につながる居住地校交流に取り組んでいくとともに、中学校との交流についても可能性を探っていきたいと考えています。

お問合せは…

Tel : 018-870-4611

Fax : 018-870-4612

E-mail : midori-s@akita-pref.ed.jp

秋田県立支援学校天王みどり学園

教頭 根 義鎮

地域支援部 小川 成樹

開催しました

第2回 きらきら塾

日時：10月5日（木）15：30～16：30

テーマ：「発達障害のある青年への進路支援

～幼児期から企業就労に至るまで～

講師：天王みどり学園 地域支援部主任 小川 成樹



今回は、アスペルガー症候群のAさんの進路指導の実践を基にした研修でした。

研修では、Aさん本人にインタビューした生の声も多く紹介され、その内容は幼児期にまでさかのぼり、鮮明かつ客観的に語られたものでした。そのため、Aさんが二次障害を抱えたり、自身の障害を受容したりしていく様子が分かり、高等部段階の進路指導に限らず、各年齢段階での指導・支援のあり方を学ぶことができる内容でした。



What

〈きらきら塾とは〉

☆地域の幼・保・認定こども園、
小・中・高等学校の先生方、
地域の皆さんを対象とした研修会

☆研修会後に、個別相談会も実施

きらきら塾

参加者 13名

保育士・保育教諭6、高等学校教諭2、
地域の小学校保護者5

個別相談

希望者 3名

〈主な相談内容〉

- ・発達障害者の進路
- ・衝動性のある幼児への支援 等

障害を本人が受容することが大切だと分かった。保護者も本人が受容できるようにサポートしなくてはならないと思った。

参加者の声

発達障害の人の子供から大人になるまでの気持ちにふれ、涙が止まりませんでした。

義務教育や就職するまでのかかわり方や考え方、障害をもった子どもの考え方などを知ることができ、とてもためになりました。